



ツルタケ

南足柄市怒田にある運動公園は今年三月にリニューアルされ、あらゆる人が楽しめるインクルーシブな公園として生まれ変わりました。

青空に浮かぶうろこのような雲を見上げて、爽やかな空気を胸一杯吸い遊歩道を歩けば、足柄平野が眼下に広がります。改めて緑豊かな素晴らしい環境に感謝して、もう少し歩いてみようと思いがわいてくるのです。

運動公園



今、ふれあいの村では・・・

なかなか雨が降らずキノコが出にくい環境でしたが、最近降った雨で一気に色々なキノコが地表から顔を出し始めました。

◆ 朽ちた樹木に大きなキノコを見つけました。コフキササルノコシカケです。漢字では「粉吹猿腰掛」と書きますが、「粉吹」の名の通りキノコの傘の表面にココアの粉のような胞子がつくことからこの名がつけました。食用ではなく、煎じて漢方薬とするなど、薬用として利用されるキノコのひとつです。

◆ 日陰の斜面にテングタケを見つけました。こちらは有名な毒キノコですが、傘の表面のイボイボ模様がヒョウ柄なのが特徴です。ちなみにこのイボイボは幼菌の時、キノコを守っていた「殻」の名残りだそうです。秋はキノコのベストシーズン。まだまだ楽しめそうです。



コフキササルノコシカケ



ツチグリ



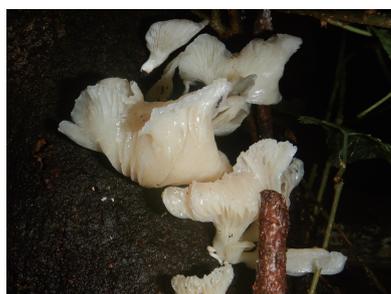
クサハツモドキ



カワラタケ



テングタケ



スギヒラタケ

フクラズズメ幼虫

散歩をしていたら掌ぐらいの大きさの葉の草があった。葉の片側は緑色で裏側は白っぽい。そこにすごく派手な模様の芋虫がいたんだ。見つけたときはびっくりして葉を掴んでいた手をパツと放しちゃった。

そうしたら芋虫の方もびっくりしたらしく、体をそらして葉にぶら下がるとすごい速さでぶるぶる揺れ始めた。

しばらく見ていたらぶるぶるは止まった。なんで揺れたのかな。大きな芋虫なのに急に揺さぶられたから驚いちゃったのかな。芋虫はこのぶるぶるで身を守っているのかもしれないな。



フクラズズメ幼虫

★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



ニオイワチチタケ



ニオイコベニタケ



フジウスタケ



タマゴタケ

朝晩は幾分過ごしやすくなりましたね。涼しい時間帯に色鮮やかなキノコを求めて村内を散策してみました。

◆どんぐりの木の下で年輪のような模様のキノコを見つけました。ニオイワチチタケです。「チチタケ」と名が付く由来はキノコの傘を傷つけると半透明の白い乳液が出るところからきています。また、カレーのようなスパシーな香りを放つことも特徴の一つです。

◆もう一種類、匂いに特徴のあるキノコを見つけました。ニオイコベニタケです。傘の部分が桃色で可愛いキノコですが、カブトムシのような独特な匂いがします。

ベニタケ類のキノコは似ているものが多く、同定することが難しいとされていますが、このカブトムシの匂いのおかげで比較的簡単に見分けられるそうです。公園などの雑木林でも見つけることはできるので、匂いに注目して探してみるのも楽しいですね。

【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村に電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

「フォレスターキッズキャンプ③」のご案内

小学校低学年だけのお泊りキャンプです。冬の自然体験活動を通して友だち作りや、みんなで美味しいごはん作りにも挑戦！たくさん遊んでいっぱい思い出を作ろう！

実施日) 令和7年12月6日(土)～7日(日)【1泊2日】
会場) 足柄ふれあいの村
対象) 小学校1年生～小学校3年生
定員) 35人
参加費) 8,300円
申込期間) 令和7年10月5日(日)～令和7年10月31日(金)

★来月のファミリーコミュニケーションの日：11月2日(日)

10:00～12:00《自然観察会》木の実 草の実観察

※参加費は無料です。

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。
※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村（南足柄市広町1507）

電話：0465-72-2010 F A X：0465-72-2013

指定管理者：株式会社アグサ

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課

U R L：http://www.ashigara-fureai.com/